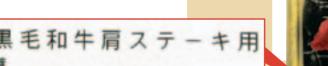
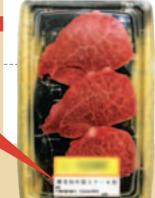
トレーサビリティ 流通経路が分かります

個体識別番号の場合

10桁の個体識別番号が表示されている 場合は、その番号で検索できます。

牛個体戰別番号 1234567890





牛肉パックの ラベルシールを確認

精肉売場に並べられている牛肉パック のラベルシールには値段などとともに 個体識別番号(またはロット番号)が 表示されています。



ロット番号の場合

12345678901234

店などのホームページで検索する ことができます。検索方法はロッ

家畜改良センターの

個体識別番号を家畜改良センターの ホームページの検索画面に入力して検 索します。スマートフォンや携帯電話で 検索する場合は、下記の QR コード (もし くは URL) から画面を開くことができます。



家畜改良センター(検索サービス) http://www.id.nlbc.go.jp/mobile/



個体識別番号で分かること

- ●出生年月日
- ●雄雌の別
- ●母牛の個体識別番号 ●種別 (品種)
- ●飼養県、異動の内容・年月日
- ●飼養施設の運営者や場所 ほか

故などが発生した際に、 物混入など健康に影響を与える事 したのか 問題のあ

できるのがトレ る食品がどの経路で流通したのか のまん延防止や牛肉の場合、BSE(牛塩 またはどこで問題が発生 (遡及)を調べることが

の安全に

飼養されてきたかを確認す

て個体識別番号を検索す

肉の流通に

履歴が記録され の個体識別番号ごとに異動の よって、 牛の生産

トレーサビリティ制度を運用して関する信頼を確保するために、牛 わる各事業者が、

レーサビリティに関係識別番号」の発

意義は

安心・安全な 牛肉を 提供するための

登記と牛の トレーサビリティ

牛の出生から流通まで個体識別番号により一元的に管理する 牛のトレーサビリティをご存じですか?

子牛登記

雌雄が分かりやすい ように、雄は漢字、 雌はひらがなで付け られます。

鼻紋

鼻紋は、その牛固 有のもの。本牛と 登記証明書の牛が 同一であることを証 明するために添付。



個体識別番号

平成15年12月1日より 施行された牛トレーサビ リティ法により牛一頭 ごとに管理されていま

血統

子牛登記証明書には、 二代祖までの父母名と 三代祖の父名が記載 されています。

優れた血統の 種雄牛の確保が重要

牛の成長や、肉の歩留まり、サシの入りやすさなどは、 遺伝的な要素が大きく影響するため、子牛の取引時には 血統が重視されています。人工授精が広く普及している和 牛の世界では、液体窒素で冷凍保管された精液を全国の 繁殖農家などに供給し、子牛が生産されています。

優れた血統の子牛を生産するためには、そうした血統の

種雄牛の確保が必要で す。特に優れた血統の 種雄牛の精液は、数万 円で売買され、何万頭も の子孫を残している種雄 牛も存在しています。



また、すべての子生種の和牛が各家畜登得 す。子牛は登録のための検査を受号が印字された耳標が付けられま出生屋を有いる。 出生届を行 と牛トレ 、すべての子牛は産まれるれ登録されています。 10桁の個体識別番ピリティ法に基づき

現在では、 年にかけて各県で始まり 褐毛和 の 4 品 9年

の基本となるのは子牛がありますが

登記により すべて

登録された

ても大きな役割が求められての体識別番号には流通面の情報です。

があります。 どの区分にも、 「基本登録」 それぞれ登録申

ていま、一方、た

「本原登録」 などほ

優れた母牛は、優れた子牛を定期的に産んでくれ、経営農家に利益をもたらします。 では優れた母牛は、どのように育てられているのでしょうか。

優れた母牛を育てる

農家の高齢化が著しく、出荷頭数が減少の傾向にある 伊佐地域活性化のためにも長期的な育成農家計画を 練り、共進会にチャレンジ。平成27年伊佐市の秋季 共進会グランドチャンピオンを獲得しました。

県畜産共進会に挑戦!

伊佐農林高等学校(鹿児島)

ります。血統や体格など優れた資くの出産に耐えられる体を形づくぬともなる体重を長く支え、数多

増えることにもなり、地域の畜産牛が増え、それはまたよい母牛がよい母牛が得られれば、よい子 せ、空胎期間が少ないます。分娩後80日以内午の精液を人工授精し、

優れた母牛の育成畜産業活性化につながる

体格などから母牛

開催は5年に1度。 全国和牛能力共進会

よりよい和牛の生産を目指して5年に1度開催される 全国和牛能力共進会は、次回(平成29年)で11回目 となります。 最終の比較審査は、平成29年の9月7日か ら11日にかけ、宮城県仙台市で行われます。

回ごとに和牛生産・改良上の目標を開催テーマとして 掲げ、そのテーマに向けて全国の和牛農家は日々努力 を続けています。

平成29年のテーマは、「高めよう生産力 伝えよう和 牛力 明日へつなぐ和牛生産」。和牛が持つ優れた能 力に磨きをかけ、繁殖・肥育両面から生産効率を向上 させ、日本の食文化を支える和牛の魅力を広く発信して いきたいという思いが込められています。



全国和牛能力共進会・種牛審査の様子。

